



実践テーマ

自分のフォームを録画再生で確認し、ジャンプシュートの動作を改善しよう。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

〈導入〉 ジャンプシュートの動作確認(練習)を行う。教師の模範演技の録画を再生しながら生徒に見せて、説明する。(生徒の興味・関心を高める)

〈展開〉 自分や仲間のジャンプシュートのフォーム技術を考察し動作につなげる。(生徒の意欲や知識を高める)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>自作の的に向かってシュート練習をする。踏み切りステップと腕の使い方を意識して行う。</li> <li>教員が模範を行い、録画を再生しながらポイントを説明する(動画①)。</li> </ul>	●動画(教師の模範演技)
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のフォームの課題を録画再生装置の映像を見ながら確認し、改善する(動画②)。</li> <li>教員の模範と比較し、ポイントを確認する。</li> <li>試合の中でのさまざまな状況でのジャンプシュートの活用について意識して練習を行う。</li> </ul>	●動画(生徒のシュートフォーム映像)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをまとめて発表する。</li> </ul>	



模範フォームを録画再生しながら説明



自分のフォームを録画再生装置で確認



生徒の反応・効果

- ・タイムシフト再生をすることでシュート直後(15秒後)に自分のフォームを映像で確認することができ、想像していた自分のフォームと模範との違いを確認でき、改善につながった。
- ・映像を仲間と交流することで予想以上の技術向上につながった。
- ・スローモーション、静止機能などを使用してポイントをおさえて練習することができた。その結果生徒の知識も深まった。

活用のポイント

- ・良いフォーム・悪いフォームの違いを理解させるのに、教員の模範のフォームを録画のスロー再生や静止機能を活用することで説明がしやすくなる。
- ・生徒自身にリモコンを活用させ、静止、スローモーションを用いて自分や友だちの課題を発表させ、考えさせる。